

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

県北広域振興局

| 名称 | | 金額 | | 事業コード | | | 評価結果 | |
|-----|-----------------------|---------|------------|------------|----------|---------------|-------|---|
| No. | 事業名 | 事業主体 | 事業費 (円) | 推進費 (円) | 事業性質 | 事業小区分 | 種別 | 事業実施主体による評価 |
| 1 | カシオペア地域づくり活性化推進事業 | 経営企画部 | 2,480,000 | 2,480,000 | 1 県・委託 | 12 NPO・コミュニティ | 1 ソフト | カシオペア連邦情報発信事業については、次年度も継続するとともに、番組内容について検討していく。 カシオペア若者カーリング振興事業については、新型コロナウイルスの影響により、ジュニアカーリングスクールの回数が少なかったが、例年よりも多くの方に参加していただいた。次年度も、カーリングの地元定着を図りながらカーリング団体への支援を行っていく。 |
| 2 | カシオペア連邦建国30周年記念事業 | 経営企画部 | 418,521 | 418,421 | 1 県・委託 | 12 NPO・コミュニティ | 1 ソフト | 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、当初予定していた30周年記念式典は中止することとなったが、代替事業を実施することで、カシオペア連邦の30周年にわたる地域づくり活動や地域振興の取組の成果を振り返るとともに、今後の活動の契機とすることができた。 |
| 3 | 北いわて・子ども文化スポーツ体験ひろば | 経営企画部 | 797,881 | 797,881 | 1 県・委託 | 14 文化・スポーツ | 1 ソフト | 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じ、実施可能な時期に予定した事業を実施できた。 |
| 4 | 八戸圏域との文化スポーツ交流・連携推進事業 | 経営企画部 | 171,898 | 171,898 | 4 県・上記以外 | 14 文化・スポーツ | 1 ソフト | 新型コロナウイルスの影響により、出張アートイズは実施を見送り。子供サッカー体験教室は予定を一度中止したが、時期を改めて実施することができた。 |
| 5 | 県北妊産婦安心出産支援事業 | 管内市町村 | 3,439,758 | 1,719,878 | 2 県・補助 | 7 地域医療・健康づくり | 1 ソフト | 人口減少が著しい県北地域において、経済的に、また安心して出産できる環境の一環として、本事業を推進してきたが、関係市町村からの継続要望も強く、令和4年度から「北いわて妊産婦安心安全出産支援事業」として、一部内容を変更のうえ実施することとした。 |
| 6 | 障がい者アート推進事業 | 保健福祉環境部 | 79,018 | 79,018 | 4 県・上記以外 | 8 子育て・福祉 | 1 ソフト | 久慈地域では、障がい者アートの作品を目にしたり、専門家の指導を受ける機会は多くないが、平成29年度から本事業に取り組み、毎年度、参加作品数が増加するなど、関心は高まりつつあり、一定の成果は上げているものと思われる。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業の中止や規模縮小などを余儀なくされたが、次年度以降もこの状況が続くことを視野に入れた形での実施（zoom開催など）も検討していく。 |
| 7 | 久慈・二戸地域「道の日ウォーキング」事業 | 土木部 | 248,170 | 248,170 | 1 県・委託 | 12 NPO・コミュニティ | 1 ソフト | イベントのリピーターが多くなっていることから、来年度以降も引き続き道の日イベントを継続し開催することを検討していく。 |
| 8 | 持続可能な社会の創り手育成事業 | 保健福祉環境部 | 167,028 | 167,028 | 4 県・上記以外 | 10 環境 | 1 ソフト | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業実施が危ぶまれたが、実施者が感染防止対策を講じながら実施することが出来た。 |
| 9 | 県北地域における動物愛護思想普及啓発事業 | 保健福祉環境部 | 133,654 | 133,654 | 4 県・上記以外 | 10 環境 | 1 ソフト | 人を集めて行う事業については新型コロナウイルス感染症の影響により実施できないものもあるが、動向を踏まえながら実施したい。 |
| 10 | 北いわて再エネ広域連携推進事業 | 経営企画部 | 725,460 | 725,460 | 1 県・委託 | 10 環境 | 1 ソフト | 将来的な首都圏への再エネ供給を見込み、北いわての再エネの取組や特産品について認知度向上を図ることができた。 主に国の新たな施策（脱炭素先行地域）について、国の担当者を講師に招くなどし、県・市町村間で検討を行った。市町村の申請にあたっての参考とすることができたほか、北いわて9市町村が一堂に会して協議する場を設けたことで、市町村間の意思疎通や今後の取組を検討する機会とすることができた。 |

県北広域振興局

| 名称 | | 金額 | | 事業コード | | | 評価結果 | |
|-----|----------------------|------------------------------------|------------|------------|----------|---------|-------|---|
| No. | 事業名 | 事業主体 | 事業費 (円) | 推進費 (円) | 事業性質 | 事業小区分 | 種別 | 事業実施主体による評価 |
| 11 | 農業担い手チャレンジ支援事業 | 久慈地方農業農村活性化推進協議会/ 二戸地方農林水産振興協議会 | 1,076,725 | 717,481 | 2 県・補助 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 事業実施によって、モデル経営体の経営拡大や高度化につながっており、特にも施設園芸にICT技術を導入することへの不安感が払拭されたことから、関係機関・団体による管内農業者への取組内容の波及が期待できる。 今後も、関係機関・団体が連携し、地域における農業の担い手確保・育成に向けた取組を継続的に進めていく。 |
| 12 | 魅力ある農業農村づくり活動支援事業 | 小久慈じゅうね研究会 | 207,737 | 179,515 | 2 県・補助 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 地域ビジョンを作成することはできなかったが、えごま栽培等の活動を通して集落ぐるみの取組の機会は増えたと考えられる。 次年度は、地域ビジョンの作成に向け、地域活性化に取り組んでいる集落や団体を対象に研修会を開催するとともに、引き続き、集落ぐるみの取組に対して補助を行う。 |
| 13 | アスパラガス半促成栽培実証事業 | 農政部 | 178,542 | 178,542 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 当地域では4月下旬から5月にかけての時期に定植することが可能であることが分かったが、降霜時期については年次変動があるため、温度管理等について引き続き検討が必要である。 次年度は、栽培2年目となる圃場での収穫量及び販売額を調査し、収益性を検討する。また、地域適応性の検討のため、洋野町以外の地域での実証事業を継続する。併せて、圃場見学会を実施し、地域への波及を図る。当地域での出荷体制や規格について検討するため、県南地域や他県の先進地視察を実施する。 |
| 14 | ほうれんそう夏期収量アップチャレンジ事業 | 農政部 | 868,806 | 868,806 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 2作型×2圃場で取り組み、生育促進などの影響が認められたものの、ミストの稼働条件の設定や大雨の影響等により、収量への影響は判然としなかった。 実証農家は、圃場内の生育の揃いが向上した効果を実感しており、次年度に期待している。 |
| 15 | 短角牛肥育経営新規就農モデル実証事業 | 農政部 | 384,117 | 384,117 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 今回、肥育牛の発育の面だけでなく肉質・食味評価の面においても、混合飼料を主体とした肥育体系が実用可能であることが実証できたことで、新規就農のような生産基盤を保有しない状況下でも日本短角種の繁殖肥育一貫経営が可能であることがわかった。実証を担当した経営体は飼養頭数を計画的に増やし経営を定着するに至っている。また、短角の一貫経営での新規就農希望も寄せられており、今回の実証結果を活用して就農を支援していく。 |
| 16 | フードダイバーシティ支援事業 | 農政部 | 448,554 | 488,554 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 令和3年9月には、二戸地域における「フードダイバーシティ」の推進母体となる「二戸フードダイバーシティ推進協議会」(事務局:株式会社南部美人)が設立され、民間事業者主体の取組に移行しつつある。また、飲食店のメニュー開発やベジタリアンサイトへの登録が進みつつあり、本取組が浸透してきていることから、引き続き、ヴィーガン等に対応したメニューの改良やPR、先進事例の調査や情報共有等に対する支援を行い、さらなる取組促進を図っていく。 |

県北広域振興局

| 名称 | | 金額 | | 事業コード | | | 評価結果 | |
|-----|---------------------------|---------------|------------|------------|----------|---------|-------|--|
| No. | 事業名 | 事業主体 | 事業費 (円) | 推進費 (円) | 事業性質 | 事業小区分 | 種別 | 事業実施主体による評価 |
| 17 | 農林水産業経営力向上支援「カイゼン塾」事業 | 農政部 | 819,000 | 716,138 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 新型コロナウイルスの影響により、日程の変更や、開催方法の変更もあったものの、「一般的な「カイゼン」の視点・考え方の他、参加者が抱える経営課題に即したディスカッション、講師によるアドバイスは非常に好評であり、ぜひ次年度も継続して参加したいという経営体があった。 次年度は事業を継続して、カイゼン現地見学会やカイゼン塾の開催のほか、横展開に向けた事例収集を行い、管内のカイゼンの普及拡大に向けて取組を行う。 |
| 18 | 御所野遺跡等をテーマにした産直の商品開発等支援事業 | 農政部 | 304,675 | 304,675 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 新型コロナウイルスの影響により事業内容を限定して実施することとなったが、個別の課題解決を支援した。商品開発の支援は令和4年度に実施する。 |
| 19 | 日本一の「甘茶」生産量拡大作戦！展開事業 | 農政部 | 160,427 | 160,427 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 引き続き、単収向上に向け、作業体系のマニュアル化を図るため、収量・品質に優れた事例を調査し、栽培マニュアルを発行した。規模拡大に向けては、実証圃(ほ)の運営を引き続き行い、育苗の短期化を図ることができた。また、実証結果から、生産者に有効的な省力化技術の導入を推進した。 |
| 20 | 「林業・木材産業」新規就業者確保支援事業 | 久慈地方「木の仕事」協議会 | 504,990 | 326,000 | 2 県・補助 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 今後も林業・木材産業への就業支援を継続して支援していく必要がある。 |
| 21 | アカマツ販売チャンネルの新規開拓促進事業 | 林務部 | 220,000 | 220,000 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 引き続き、様々な機会を通じて地域材のPRに努め、地域材の利用促進を図っていく必要がある。 |
| 22 | 久慈地方原木乾しいたけ振興総合対策事業 | 林務部 | 477,258 | 477,258 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 久慈地方産原木乾しいたけのPRは、フェアの開催を通じて地域では一定の効果を挙げることができたと考えられる。一方で、実態把握調査の実施により岩手県産・久慈地方産の原木乾しいたけの実需者における認知度がまだまだ低いことが明らかとなり、継続的なPR活動の重要性を認識することができた。今後は、久慈地方産原木乾しいたけの認知度向上を図るとともに、生産者の所得向上につながるよう高付加価値化の取組を推進していく。 |
| 23 | 北いわて木炭販路拡大促進事業 | 北いわて木炭産業振興協議会 | 177,706 | 214,980 | 2 県・補助 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 今回の取組によって、若手を含めた生産者の意識改革となり、販路開拓の方向性について共通認識を持つことができた。来年度以降も、岩手木炭の販路拡大、高付加価値化を図っていく必要がある。 |
| 24 | 林業イノベーションによる経営力向上支援事業 | (株)柴田産業 | 760,000 | 401,030 | 2 県・補助 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | トヨタ自動車㈱からの指導を受ける中で、社員自ら現場カイゼンの行動を起こすようとなり、働きやすい環境改善が進んだ。 |
| 25 | 浄法寺漆資源維持造成対策事業 | 林務部 | 880,411 | 880,411 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 今年度育成された漆実生苗木が出荷されることで、従来を大きく超える新たな漆植林の面積が増える見込みとなり、漆資源の増大に繋がる。 また、保育管理の技術を新たな担い手に普及することで、現在の漆資源の維持に繋がる。 次年度も継続して漆資源の継続的な拡大に繋げたい。 |
| 26 | 鳥越竹細工用スズタケ資源確保支援事業 | 林務部 | 465,300 | 465,300 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 令和3年度の調査箇所から移植を行い、次年度にスズタケ資源増殖方法の検証を行う。 |

県北広域振興局

| 名称 | | 金額 | | 事業コード | | | 評価結果 | |
|-----|--------------------------|----------------|------------|------------|----------|---------|-------|--|
| No. | 事業名 | 事業主体 | 事業費 (円) | 推進費 (円) | 事業性質 | 事業小区分 | 種別 | 事業実施主体による評価 |
| 27 | 久慈地域水産物戦略的販売事業 | 久慈地域「海の幸」PR協議会 | 317,485 | 230,406 | 2 県・補助 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 久慈地域「海の幸」PR協議会ホームページの令和3年度の閲覧数63件に対し、ブログの閲覧数は2,627件であり、久慈地域の水産物のPRに一定の効果があつた。ブログ読者の増加に比例してPR効果も高くなることから、今後さらにブログの知名度を向上させていく必要がある。そのため、久慈地域の他のSNS媒体と連携してブログの露出を増やして閲覧数を増やしていくほか、読者が求める情報を調査することで、よりブログの内容をより魅力あるものとする。 |
| 28 | 明日の浜の担い手育成事業 | 水産部 | 140,243 | 140,243 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 研修や体験学習は、参集型での実施が主であるため、新型コロナウイルス感染症の発生状況に鑑み開催方法、時期を検討し、感染予防対策を講じた上で実施していく必要がある。また、実技を必要としない座学等の学習会は、リモートでの開催で実施できるよう関係機関と調整する必要がある。 |
| 29 | 餌料対策連携高度化事業 | 水産部 | 195,052 | 195,052 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 垂下式と延縄式を比較すると、3月時点では垂下式の方がコンブの成長が良い結果となったが、今後も試験養殖を継続して生産量及びコストの比較を行う必要がある。 今後は、管内漁協連携による餌料海藻供給体制を構築するため、更なる餌料海藻生産の安定化・省力化技術の開発に取り組む。 |
| 30 | 漁港泊地高度利用事業 | 水産部 | 239,580 | 239,580 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 今後、漁港泊地においてナマコ増殖に取り組むにあたり、重要な知見を収集することができた。今回の知見をもとにナマコ増殖を推進する。 |
| 31 | 革新的増養殖プロジェクト事業 | 水産部 | 1,023,000 | 1,023,000 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 革新的増養殖市場等調査業務委託により、ギンザケやナマコに関する知見を得ることで現状や課題を把握できたほか、地域活性化に向けた提言を得たことから、提言をもとに関係機関と今後の方針や取組内容を具体的に検討していく。 |
| 32 | サケ餌料環境調査事業 | 水産部 | 115,500 | 115,500 | 4 県・上記以外 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | 近年、海水温の上昇等海況の変化によりさけ稚魚の放流適期が短くなっているため、野田湾において餌料環境調査を行うことにより、適期に稚魚を放流することで稚魚の生残率が高まり、県北地区のさけ漁獲量の増加が期待されることから、今後も引き続き調査を実施していく。 |
| 33 | 北いわての食産業魅力づくり推進事業 | 経営企画部 | 2,145,991 | 2,145,991 | 1 県・委託 | 2 食産業 | 1 ソフト | 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止等はあつたが、観光客数が多い安比高原での観光展示・物産販売やIGRと連携した飲食店での情報発信などに取り組むことで、地域食材や食文化のPRにつながった。また、魅力ある事業者成長促進支援事業の実施や各種支援制度の情報提供により、補助金等を利用した新事業の実施や売上向上を支援することができた。引き続き、事業者が抱える課題解決と地域食材の認知度向上に取り組んでいく。 |
| 34 | マンガを活用した三陸沿岸道路沿線の飲食店PR事業 | 経営企画部 | 500,000 | 500,000 | 3 県・負担金 | 2 食産業 | 1 ソフト | テレビや新聞等のメディアで取り上げられるなど注目度が高く、多くのところから問い合わせが寄せられた。令和4年度は本庁経営支援課の補助金を活用し、新たなテーマでガイドブックを発行し、三陸沿岸道路の利活用による地域活性を図っていく。 |

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

県北広域 振興局

| 名称 | | 金額 | | 事業コード | | | 評価結果 | |
|-----|--------------------------|-------|------------|------------|----------|-----------|-------|---|
| No. | 事業名 | 事業主体 | 事業費 (円) | 推進費 (円) | 事業性質 | 事業小区分 | 種別 | 事業実施主体による評価 |
| 35 | 北いわてものづくり産業人材育成・連携促進事業 | 経営企画部 | 381,242 | 381,242 | 4 県・上記以外 | 1 ものづくり産業 | 1 ソフト | <p>県北ものづくり改善塾・改善塾フォローアップ事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。</p> <p>管内高校への教材費の支援は、高校生の技術力向上につながる取組となった。</p> <p>管内企業の人材確保等に、効果的な取組となるよう企業ニーズの把握に努め、取組を実施することができた。</p> |
| 36 | 北いわてアパレル産業人材育成支援事業 | 経営企画部 | 860,767 | 860,767 | 3 県・負担金 | 1 ものづくり産業 | 1 ソフト | <p>学生デザインファッションショーのテレビ放送による開催や、JFW JAPAN CREATIONへの出展により、コロナ対策を講じつつ、北いわてアパレルの認知度向上に取り組むことができた。</p> <p>R4年度は学生デザインファッションショーの開催を支援するとともに、SNSを活用した県北地域のアパレル産業の情報発信等により、引き続き認知度向上に努める。</p> |
| 37 | 北いわて観光資源ブランディング推進事業 | 経営企画部 | 225,521 | 225,521 | 4 県・上記以外 | 3 観光産業 | 1 ソフト | <p>新型コロナウイルスの感染拡大により、計画していた取組を実施できないものもあったが、県北地域への継続的な観光流動の創出には観光コンテンツのブランディングは必要と考えるため、令和4年はよりベースを固めることを重視し、勉強会をメインにして引き続き取り組む。</p> <p>三陸鉄道との連携に関しては、引き続き密に情報共有を図りながら、各種広報媒体で情報発信を行っていく。</p> |
| 38 | カシオペア地域魅力発信事業 | 経営企画部 | 2,461,867 | 2,461,867 | 1 県・委託 | 3 観光産業 | 1 ソフト | <p>イベント出展支援やのぼり・横断幕等を作成し、掲載することでカシオペア連邦をPRすることができた。また、ホームページを活用した情報発信や、九戸政実ガイドブックの増刷を行うことで、地域内外にPRすることができた。</p> |
| 39 | 地域ジョブカフェの就業支援サービス充実・強化事業 | 経営企画部 | 1,833,560 | 1,833,560 | 1 県・委託 | 5 雇用環境の整備 | 1 ソフト | <p>地域の就業支援に関する相談窓口である地域ジョブカフェの就業支援サービスの充実を図るため、新規のイベント(大人のインターンシップ、成人式等の機会を活用した企業情報の発信)や継続事業(若年者の定着支援セミナー等)を実施し、地域の就業支援に資することができた。新型コロナウイルス感染症による管内のイベント開催が減ったことにより、周知機会の減少などの影響もあったが、当初の予定どおり実施することができた。</p> |
| 40 | 地域水産資源造成試験事業 | 水産部 | 1,494,377 | 1,494,377 | 1 県・委託 | 6 農林水産業 | 1 ソフト | <p>放流効果を検証するには、放流稚魚が沿岸回帰し、漁獲されてからとなるため、現時点では評価が困難である。</p> |
| 合 計 | | | 28,529,821 | 25,771,748 | | | | |